



## 本日の目的とアジェンダ

本日はマイクロモビリティの社会実装に向けた課題の検討と、モビリティステーションの機能・内容についての具体化を進めます。

### 目的

1. マイクロモビリティ社会実装に向けた検討
2. モビリティステーション設置に向けた機能・内容の具体化

	アジェンダ	発表者	時間
10:00-	<b>イントロダクション</b>		
	本日の参加者・目的の確認	-	5分
	第1回PT討議の振り返り	事務局（千葉市）	10分
	今年度実証実験の内容について	NTTコミュニケーションズ様	15分
10:25-	<b>サービス利用時の課題解消策の具体化検討</b>		
	グループワーク	-	30分
	全体共有	各PTメンバー	5分
11:00-	<b>モビリティステーションの具体化検討</b>		
	話題提供：モビリティステーション活用事例およびEVスクーターの普及促進について	OpenStreet様	10分
	グループワーク	-	30分
	全体共有	各PTメンバー	5分

## イントロダクション

本日の出席者は以下の通りです。

### PT参加団体名（順不同）

OpenStreet株式会社

シャープ株式会社

ダイナミックマップ基盤株式会社

株式会社建設技術研究所

株式会社 アイシン

株式会社JTBCコミュニケーションデザイン

株式会社NTTドコモ千葉支店

MS & ADインターリスク総研株式会社

株式会社千葉ステーションビル

### 本日も欠席団体名（順不同）

千葉大学

幕張ベイタウン自治会連合会（オブザーバー参加）

長谷川工業株式会社

## PT全体の予定

全4回を通じて、施策の実現にむけ、施策の具体化、実行を進めます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストン		WG #1		PT #1		PT #2	WG #2		PT #3		PT #4	WG #3
実施事項					実証公募			マイクロモビリティ 実証実験				

### 第1回

#### 今年度の取組の 方向性決め

1. 今年度のPT目標共有
2. 今年度の方向性検討
  - 昨年度実証実験結果の振り返り(ドコモ様、長谷川工業様)
  - 今年度検証項目の討議
3. モビリティステーション活用の案出し

### 第2回

#### 利用促進に向けた 課題検討・アイデア出し

1. 実証実験公募概要説明(実証採択者)
2. サービス利用時の課題解消案の具体化
3. モビリティステーション設置の具体化(車両・機能)

### 第3回

#### 具体化施策の検討・評価

1. 実証実験の進捗確認(実証採択者)
2. 社会実装に向けたサービス案の選定・課題抽出
3. 社会受容性向上や安全性に関する討議

### 第4回

#### 実装・来年にむけた検討

1. 実証実験結果報告
2. 実装に向けた課題洗い出し
3. 来年度に向けた目標設定

## 第1回PT討議の振り返り

来訪者の行動シナリオを検討した結果が以下の通りです。

### ワーク目的

来訪者が新駅開通時にマイクロモビリティを利用することを想定し、来訪者の行動のシナリオから検証項目洗い出し

【凡例】 黒色：複数モビリティ 水色：シェアサイクル 緑色：電動キックボード 青色：次世代型パーソナルモビリティ

	幕張到着	マイクロモビリティ乗車	利用	降車（返却）
ポジ感情		<b>乗車体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>初めて乗るな、楽しみだな</li> </ul> <b>料金</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>スマホで安価で乗れるのは楽だな</li> </ul> <b>機能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数人で乗れるモビリティがあるといいな</li> <li>かご、電動アシスト機能があつていい</li> </ul>	<b>利用場所</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ちょっとした距離で使えて便利</li> <li>海外だと便利で、一方通行があっても色々移動できる。初めての場所で方向転換がしたくなる。</li> </ul> <b>乗り心地・乗車体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きが軽くてらくちん</li> <li>新たなモビリティで颯爽と走れたらカッコいい</li> </ul> <b>料金</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>料金プランに上限設定があつて安心！</li> </ul>	<b>乗車体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>楽しかったな。今回の旅は常にこれに乗ったから一緒に写真を撮ってSNSにあげよう。</li> </ul> <b>設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗り捨てできる！</li> </ul>
ネガ感情	<b>設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場に現在利用できるものがなかった。残念。</li> <li>みんなが借りられるわけではない</li> </ul> <b>広報・PR</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕張に電動キックボードがあることを知らなかった</li> </ul> <b>乗車体験（乗り物への不安）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>転倒、途中でバッテリーが切れないのかな</li> <li>新しい乗り物にはとっつきにくい</li> </ul>	<b>乗車体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>初めて乗るので怖い</li> <li>家族で乗りたいが、子どもが乗れるか心配。練習できるところはないかな。</li> <li>乗車にあたりどういった制限があるのか。年齢制限があるのかやヘルメット着用は義務なのかわからない</li> <li>普段来ないエリアで、普段使わないモビリティを使うのはハードルが高い</li> </ul> <b>利用シーン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨だからどうしよう</li> <li>ユーザビリティ</li> <li>車両を見つけるのが大変</li> <li>乗るまでに時間がかかる</li> <li>0から1回目の利用が結構大変</li> <li>利用時間が分からないためどのプランにしたらいかわからない</li> <li>会員登録が面倒</li> </ul> <b>設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>充電が足りないので、他の車両を見つけられない</li> </ul>	<b>設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>小休憩でコンビニ行っている間にモビリティがなくなってしまった</li> </ul> <b>機能・利用方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>リュックじゃないと荷物持ちにくい</li> <li>夜は暗くて危ない</li> <li>けがしてしまった、壊してしまった</li> <li>車と接触しそうで怖い</li> <li>短時間利用プランが欲しい</li> <li>駅から商業施設へ移動して買い物をした際、帰りは荷物をどうしたらいいのか</li> </ul> <b>乗車体験</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>車道で乗るのが怖い（特に女性や普段乗り物を運転しない人に多い→ただし、スカートなどでも利用しやすいというメリットを訴求したい）</li> <li>電動キックボードはマイナス報道が多く、乗っているだけで悪く思われなにか</li> <li>スピードが出すぎて怖い</li> <li>見られるのが恥ずかしい</li> </ul>	<b>設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>返却可能な空きがなくて困った</li> <li>返却場所が遠い</li> <li>駅以外の目的地のポート数が少ないため好きなところでモビリティを止められない。</li> <li>施設から少し離れたところにポートがあるところもあり、不便。</li> </ul> <b>ユーザビリティ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>返却時に現金が足りない</li> <li>返却方法がわからない</li> <li>返却認識がされない時があり困る</li> </ul>

## 第1回PT討議の振り返り

シナリオを踏まえ、検証項目を洗い出した結果が以下の通りです。

ワーク目的		来訪者が新駅開業時にマイクロモビリティを利用することを想定し、来訪者の行動のシナリオから検証項目を洗い出す		
	幕張到着	マイクロモビリティ乗車	利用	降車（返却）
検証項目	<b>設備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>何台程度必要か</li> </ul>	<b>乗車体験（乗車への不安）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>使い方、使用できる支払い方法など詳細がわかる案内サイトが必要（年齢制限、ルール）</li> <li>来訪者向けに、普段使わない街で普段使わないモビリティを心地よく使ってもらうにはどうしたらいいか</li> <li>実際に一度乗ってもらうことが大切。体験コーナーの設置など</li> <li>親しみを持ってもらう</li> </ul> <b>料金</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの程度で安価と感じるか</li> <li>どのような支払い方法があるとよいか</li> </ul> <b>サービス機能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の充電量や貸し出し数がわかるアプリ、予約システムが必要</li> </ul> <b>広報・PR</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕張に到着する前や、到着後に駅においてモビリティがあることをより効率的に知らせるための工夫の仕方</li> </ul>	<b>広報・PR</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>アカウント登録にインセンティブを設けるといった仕掛けが必要</li> <li>来訪者は会員登録ができていない。ID登録が大変なので、事前の移動時間中に登録できないか。</li> <li>利用者へのより効果的な利用方法の案内（現状、看板を設置し、その横でA4チラシを配布しているが、時間がないうちでそうした案内を見るかどうか課題）</li> </ul> <b>サービス機能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗車前に利用時間分からない場合に適切なプランの設置・提案があるとよい</li> <li>目的地までどういったルートで行けば安全なのか、という案内があると利用の障のハードルが下がる。</li> </ul> <b>モビリティ機能</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数人で乗れるモビリティがあってもいい</li> </ul>	<b>利用シーン</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>幕張新都心での夜間におけるマイクロモビリティの危険個所の検証</li> </ul> <b>心理的不安</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用していない人がどう感じているか考慮する</li> <li>心理的ハードルをどのように下げていこうか考える</li> <li>街全体で、マイクロモビリティに乗りやすい雰囲気を作る（普通の街とは違うんだという雰囲気）⇒法人利用などで多くの人が乗る機会を増やす</li> </ul>
	<b>広報・PR</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅や場所のどこに設置するか</li> <li>来る前の広報にどのようなものが必要か</li> </ul> <b>乗車体験（乗車への不安）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>乗車前にどのような情報を提供するとよいか</li> </ul>			

## 第1回PT討議の振り返り

第1回で出たモビリティステーションの機能や内容についての検討は以下の通りです。

### モビリティの種類

- モビリティ種類の充実（利用者が移動目的にあった物を選択できる）

### 広報・PR

- 観光地連携が良い
- サブスク型の利用サービスに、優待サービスもつける
- アプリとの連携
- スタンプラリーの実施
- デジタルサイネージの活用

### 利用者の ニーズ・利便性

- 返却場所を指定できる仕組みの実装
- 最適な移動（距離・人数等）の可変性があると嬉しいはず
- 屋根があり休憩スペースがあるような空間の創出
- モビリティを返したい時に返せない状況をいかに解消するかの工夫が必要
- シェアサイクルキーボード共通のラック

### 安全面等の リスク・課題対策

- ポップアップ表示の強化・安全の啓蒙
- シェアモビリティは雑に使われる傾向があるので、ヒトモノや返却する際に、リスクを呈示すると回避できるのではないか
- 新駅駅前広場の状況

### 環境配慮・ エネルギー

- EVインフラとの連携が有用ではないか
- 充電出力の融通ができると良い
- 電動モビリティのバッテリーを充電できる機能→その際クリーンエネルギー（太陽光など）を使用して充電できるとなお良い

### その他事例

- 電動バイクシェア@鎌倉実証実験が参考になる

# NTTコミュニケーションズ様からご共有 (今年度実証実験の内容について)

## グループワークの全体像

今回は、幕張新都心におけるマイクロモビリティの社会実装に向けた課題解決の方向性を話し合います。

### ワークの 目的

前回のPTで挙げられたマイクロモビリティ利用者のネガ感情や利用時の課題を踏まえ、マイクロモビリティの社会実装に向けた課題解決の方向性を検討する

### ワークの 前提

- 時期：23年春の幕張豊砂駅開業以降
- 対象者：来訪者
- 対象モビリティ：ILY-Ai、電動キックボード、シェアサイクル
- 目指す姿：幕張新都心エリア内をマイクロモビリティを活用してシームレスにストレスなく移動できるサービスを実装

### ワークの 進め方

Step1

- 自己紹介
  - 会社名
  - お名前

Step2

- 第1回PTのグループワークで挙げたマイクロモビリティ利用者のネガ感情や利用時の課題をどのように解消するかについて検討
  - 課題だしの観点：広報・PR、乗車体験・社会受容性向上、他サービス連携

Step3

- 上記課題の中で、課題解決のために自社で協力できる分野や、会員企業間でどう連携できるかについて検討

## グループワーク参考

下記のような観点から、それぞれの課題に対しての対応策検討をお願いいたします。

<p>広報・PR</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 幕張新都心到着前、および到着後の広報施策としてどのようなものが必要か</li> <li>■ アカウント登録まで誘導するために、どのような施策が考えられるか</li> <li>■ どのようにSNSを活用すべきか</li> </ul>
<p>乗車体験・社会受容性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サービス利用前             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 乗車前にどのような情報を提供すると良いか</li> <li>➢ 安全面に対する利用者の不安をどのように払しょくするか</li> <li>➢ 使い方、使用できる支払い方法などを様々な年齢の利用者に対し効率的に案内するにはどうしたら良いか</li> <li>➢ 来訪者にとって、土地勘がない場所で慣れないモビリティを心地よく使ってもらうにはどうしたら良いか</li> </ul> </li> <li>■ サービス利用中             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 親しみをもってもらうにはどうしたら良いか</li> <li>➢ 周囲からの目線が気になる利用者への配慮はどうするか</li> <li>➢ 町全体で利用しやすい雰囲気をもどのように醸成していくか</li> </ul> </li> </ul>
<p>他サービス連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 他モビリティとの接続性をどのように高めていくか</li> <li>■ 幕張新都心版MaaSとどのような連携が可能か</li> <li>■ 域内の各施設とどのように連携すれば集客などの相乗効果を狙うことができるか</li> </ul>

# OpenStreet様からご共有

(モビリティステーション活用事例およびEVスクーターの普及促進について)

## グループワークの全体像

今回は、幕張新都心におけるモビリティステーション設置に向けた実現性について検討項目を話し合います。

### ワークの 目的

前回のPTで挙げられたモビリティステーションの機能に関するアイデアに基づき、モビリティステーションの設置に向けた実現性について検討する

### ワークの 前提

- 時期：23年春の幕張豊砂駅開業以降
- 対象者：来訪者
- 対象モビリティ：ILY-Ai、電動キックボード、シェアサイクル
- 目指す姿：幕張新都心エリア内をマイクロモビリティを活用してシームレスにストレスなく移動できるサービスを実装

### ワークの 進め方

Step1

- 先ほどの発表内容や、第1回PTのグループワークで挙げたモビリティステーションに関するアイデアを基に、幕張新都心にふさわしいステーションの在り方について具体化
  - モビリティステーションのタイプ（多機能型、1モビリティ特化型）毎に、それぞれに具備する機体、機能を検討

Step2

- 上記を実現するために自社で協力できる分野や、会員企業・または外部団体とどのように連携できるかについて検討。またその際どんな課題が考えられるかをアイデアだし

## グループワーク参考

第1回マイクロモビリティPTやモビリティ利活用PTで出たモビリティステーションの機能や設置モビリティに関するアイデアは以下の通りです。

<p>設置するモビリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ シェアサイクル</li> <li>■ 電動キックボード</li> </ul>
<p>ステーション機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 充電スポット                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ モビリティの充電</li> <li>➢ 災害時の非常電源としての活用</li> <li>➢ モビリティ同士での電力融通</li> </ul> </li> <li>■ 周遊バス発着ポイントの設置</li> <li>■ トイレの設置や休憩スペースとしての活用</li> <li>■ デジタルサイネージの設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 周辺マップや商業施設案内</li> <li>➢ 地域広告への活用</li> </ul> </li> <li>■ グリーンエネルギー（太陽光）などを活用した発電</li> <li>■ 荷物の配送・保管スペース</li> </ul>
<p>その他活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 観光地との連携</li> <li>■ アプリとの連携</li> <li>■ スタンプラリーの実施</li> </ul>

